

お詫びと訂正

このたびは「公認心理師国試必須センテンス」をご購入いただき、誠にありがとうございます。本書の初版第1刷（2018年6月25日発行）におきまして、下記の箇所にて誤りがございました。読者の皆様ならびに関係各位にご迷惑をおかけしたことを謹んでお詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

(2018年8月21日)

訂正箇所	誤	正
p.14 No.074	分散分析とは、3つ以上のグループの分散(データのばらつき)に統計的に有意な差があるか否かについて検討するものである。有意な差があった場合は、 多重比較 によってそれぞれのグループ間の差を明らかにすることができる。また、要因が2つ以上の場合には、 交互作用 、 主効果 を検討することとなる。	分散分析とは、3つ以上のグループの 平均値 に統計的に有意な差があるか否かについて検討するものである。有意な差があった場合は、 多重比較 によってそれぞれのグループ間の差を明らかにすることができる。また、要因が2つ以上の場合には、 交互作用 、 主効果 を検討することとなる。
p.23 No.132	ある刺激に対して起こるある反射(条件反応)が、刺激を繰り返すうちに徐々に弱くなり、やがては起こらなくなることを 消去 という。	ある刺激に対して起こるある 反応(条件反応) が、 無条件刺激(US) を伴わずに 条件刺激(CS) だけを繰り返すうちに徐々に弱くなり、やがては起こらなくなることを 消去 という。
p.93 No.560	終末期ケア(グリーフケア) とは、人生の最終段階における医療・ケアのことを指す。医師をはじめとした医療従事者から適切な情報提供と説明がなされ、それに基づいて医療・ケアを受ける本人が、多職種から構成される医療・ケアチーム、また本人の信頼する家族らとともに、繰り返し話し合う中での意思決定を基本としたうえで進めることが最も重要な原則となる。	終末期ケア(ターミナルケア) とは、人生の最終段階における医療・ケアのことを指す。医師をはじめとした医療従事者から適切な情報提供と説明がなされ、それに基づいて医療・ケアを受ける本人が、多職種から構成される医療・ケアチーム、また本人の信頼する家族らとともに、繰り返し話し合う中での意思決定を基本としたうえで進めることが最も重要な原則となる。
p.105 No.635	配偶者暴力相談センター は、都道府県が設置している婦人相談所の施設において、主として配偶者からの暴力の防止、および被害者の保護を図っている。DVシェルターともよばれる。	配偶者暴力相談支援センター は、都道府県が設置している婦人相談所の施設において、主として配偶者からの暴力の防止、および被害者の保護を図っている。DVシェルターともよばれる。
p.108 No.653	少年鑑別所 は、観察措置がとられた少年を収容し、原則的に2週間の間、少年の非行の背景事情を心理学や医学などの観点から明らかにし、家庭裁判所の審判に付すべき少年の事件の調査を担う。	少年鑑別所 は、 観護 措置がとられた少年を収容し、原則的に2週間の間、少年の非行の背景事情を心理学や医学などの観点から明らかにし、家庭裁判所の審判に付すべき少年の事件の調査を担う。